

# 第十卷索引

## ア 行(キエヲを含む)

アンドロメダ大星雲の固有運動	六九
或日の月齢を求むる法	一三八
伊能忠敬百年忌	二一
ウイレット氏逝く	八三
ウイルソン山	八三
ウイルソン山に於ける一九一六年中の研究	九三
ウイルソン山の百吋反射望遠鏡	九三
ウオルフ彗星(一九一六年b)	一三九
エンケ彗星	一三九
エンケ彗星の推算表	一三九
エンケ彗星	一三八
オリオン	一三八
オリオン座α星(ベテルゲウス)の變光	三三
オリオン星雲の視線速度	八〇
温故小話	三三
歐米滞在の中の見聞談	三三
〇型星の空間分布	三七、四九、六三、七六、七八
カ行	
夏期時刻	二〇
カナダ	二〇
カナダ天文學會	三三
カナダ七十二吋望遠鏡	四五
カシオペアの星の變固有運動	八〇
カール・ツァイス第百回誕辰記念日	一四一
球状星團の研究	一〇
極軸以外の緯度變化に就て	一九
奇妙な時計	八一、九四
キラウエア熔岩の溫度傾斜	一〇五
来る十二月二十八日の月食	一〇七
馭者座γ星の無き譯	七〇

## 引

空間の溫度	六八
火星の新要素	七九
渦状星雲	九二
渦状星雲の視線速度に就いて	九二
渦状星雲中の新星	一〇一
渦状星雲の分布	一〇一
クリーゲル六〇番星の質量	一〇六
百濟教猷君の卒業	一〇七
九月の彗星	一〇三
會員消息	八三
偶然に見たる大なる流星二個	一〇四
月食	
七月五日曉の月食	三五
去七月五日の月食	九一
来る十二月二十八日の月食	一〇七
去十二月二十八日の月食觀測報告	一四二
ケファイド型變光星五個の視線速度	六九
ケンタウルス座α星附近にあるインネス固有運動に就き	一一五
恒常極光	四四
恒星	
恒星に於ける擴散現象と對流現象	五六
恒星的運動と絶対光度	八〇
恒星的銀河密度	一三〇
吾人に最近の恒星十五個	一三〇
琴座環状星雲の視差固有運動	九二
太陽向點の位置と固有運動の關係	五五
アンドロメダ大星雲の固有運動	六九
カシオペアの星の變固有運動	八〇
バーナード固有運動星の視差	一一五
ケンタウルス座の星附近にあるインネス固有運動星に就き	一一五
五月の天象	一一

## サ 行

三體問題の定性的解法	一
三月の天象	一三一
去る七月五日の月食	九一
十月三日の大火球	一〇四
十月十日の磁氣嵐	一〇四
一月二十五日滋賀縣下に降下せる隕石	一〇五
八月のベルサイズ流星	一三〇
四月 琴座流星群の天象	八〇
七月 五月五日曉の月食	一四三
七月の天象	三五
去七月五日の月食	三五
時刻法改良の必要	九一
實視連星の密度	一三四
新 星	九
新彗星一九一七年a(メリッシ)	六九
一九一七年b(シャウマス)	二〇
一九一七年c	三二
一九一七年d	九一
星雲NGC6049内の新星に就いて	一一五
小惑星	一一六
小惑星エロスの變光	二〇
アンチゴネの變光	四三
一九一六年(ウオルフ)彗星と小惑星ウエスタとの接近	四三
蝕變光星二個	五八
麒麟SS星	六九
五月 五つ六つ	一〇五
十月	
十月の天象	七一
去る十月一日の大火球	一〇四
去る十月三日大火球	一〇四
十一月の天象	八三
十二月の天象	九五
常用時の改良に就て	一〇九

## 水瓶座流星群の觀測

彗星	四四
新彗星(前にあり)	五七
一九一五年a彗星(メリッシ)の軌道	三八
一九一六年a彗星を抹殺す	九、三二
同b(ウオルフ)彗星の軌道	四三
同c(ウオルフ)彗星の軌道	四三
と小惑星ウエスタとの接近	四三
一九一七年b彗星	四三
同a彗星(メリッシ)	三二、四七
一九二七年第二彗星の決定的軌道要素	一七八
星 團	
星團變光星	一一
星團の視線速度	一一九
星 雲	
星雲の運動	一三
變光星雲NGC2361	二〇
惑星狀星雲の視差	三三
螺旋星雲の問題	四四
アンドロメダ大星雲の固有運動	六九
インド變光星雲につき	六九
オリオン星雲の視線速度	八〇
琴座環状星雲の視差	九二
星雲の寫眞	九二
星雲NGC6049内の新星に就いて	一一六
メッシー星雲星團表に就き	一三九
渦状星雲(渦状の部にあり)	一三八
一九二七年第二星の決定的要素	一三八
一九一五年a彗星(メリッシ)の軌道	五七
に於ける太陽紅耀	一〇七
一九一六年二月三日の皆既日食の觀測	八
〇彗星(彗星の部に)	八
b(ウオルフ)彗星(彗星の部に)	八
の太陽紅耀	四三
五月二十六日の太陽の大紅耀につき	一〇三
一九一七年a彗星(メリッシ)(彗星の部に)	一〇三
b彗星(同)	一〇三
に於けるレオニス流星	一三九
一九一八年度巴里科學院賞	二一
相對律と水星近日點の運動	六八

太陽

太陽自轉測定に及ぼす霧の影響 一九

太陽面上に於ける黒點圈 一九

太陽向點の位置と固有運動の關係 五五

太陽黒點と火山 五七

太陽紅燭と黒點及白紋の關係に就て 六八

太陽紅燭に關する研究 七九

太陽輻射と氣候 九〇

太陽黒點の極大極小 一〇三

一九一五年に於ける太陽紅燭の 一〇三

大紅燭につき 一〇三

大正五年度學會報告 二〇三

東京正午砲の成績 九四

大正七年 度曆の發刊 九六

六月伊豆鳥島の皆既食に 九七

就いて 九七

各種曆の對照表 一〇六

北極星の子午線經過と最 一〇六

大離曆表 一〇六

第十八回定會記事 一一八

第十九回定會記事 一二一

チホ・ブラエの恒星表 一五八

朝鮮李朝古記録中の彗星 八五、九

月の豫表 一一、二二、三三、四七、五九、

七一、八三、九五、一〇七、一一九、

一三一、一四三 三九

天王星の變光 三九

記號の意味 七九

天文時廢止の議 八二

天文學の緊急事業 八二

天文學會記事 八二

第十八回記事 二一

第十九回記事 二一

ウイレット氏逝く 九八

ワイルソン教授の訃 九七

和山博士逝く 一〇七

カール・ワイルソン第百回誕辰記念日 一〇一

天文臺 四六

ボツダム天體物理學觀測所の新所長 七〇

ウイリソン山に於ける一九一六年 九三

中の研究 九三

天圖 一二、二四、三六、四八、六〇、七二、

八四、九六、一〇八、一二〇、一三二、

一四四 二一

テバット翁逝く 二一

電文誤譯と彗星發見 一一四

電光のスペクトル 一一五

丁抹科學藝術金牌 五九

「時」の飢餓 一四三

ナ 行

日食 一九

一九一六年二月三日の皆既日食の觀測 八

日食とアイヌスマイン重力説 一九

大正七年六月伊豆鳥島の皆既食に 九七

就いて 九七

六月九日の日食に就て 一二三

皆既日食觀測に對する希望 一三三

日没時と警察令 一四三

二十八宿と獸帯との想定及び相 二八、三九

傳に就て 二一〇

二重星の新星表 四五

ニウジランド標準時變らんか 一六

ニウトン祭 一一九

二月の天象 一一、二三、三五、四七、五九、

七一、八三、九五、一〇七、一一九、

一三一、一四三 一〇

白晝星の寫眞を撮ること 八

白鳥星S星 八一

ハツツト大將 九一

ハツツト大將の記念牌 四六

ハインズ夫人の記念牌 四六

ハイナード博士の觀望 六九

ハイナード博士の觀望 六九

萬國測地學委員會に就いて 八二

平山博士の歸朝と上田學士の赴任 四七

博士清次(の)時刻改良意見 三九

微弱星說 一二九

微弱なる新星の發見 六二、七三、八八

微ルケランド教授 九一

標準時 九四

標準時の成績に就いて 一〇

ニウジランド標準時變らんか 一〇

プロシヤ(小犬座)とアルテア 一〇

フトレミーの恒星表の由來に就き 四五

變光星 一〇

星團變光星 二〇

變光星北極星座R星 二〇

變光星北極星座R星 二〇

天王星の變光 三六

小惑星アンチゴネの變光 四三

變光星二個 四三

變光星五つ六つ 四三

變光星五つ六つ 四三

變光星五つ六つ 四三

變光星五つ六つ 四三

星の掩蔽豫告 一一、二三、三五、四七、五

本邦古記録に見ゆる二彗星の軌道 一三

ボツダム天體物理學觀測所の新所長 二八

標準時の成績に就いて 七〇

大正五年東京正午砲の成績 四六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信の法則に就て 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六

無線電信による時刻報知の成績 二六